



平成26年度  
環境活動レポート

(期間:平成 26年3月1日～平成 27年2月28日)

平成 27年6月1日

 株式会社 ト キ コ



第一章 環境理念・環境方針	.....3
第二章 組織の概要	.....4～5
第三章 エコアクション21組織図及び担当者役割	.....6
第四章 環境目標及び活動実施結果	.....7～12
第五章 平成27年度環境目標及び環境活動計画	.....13～14
第六章 環境関連法規等の取りまとめ	.....15
第七章 外部からの苦情等の受付結果	.....15
第八章 代表者の見直し	.....16



## 第一章 環境理念・環境方針

# 環境理念

株式会社トキワの社名は「あざやかな緑を保つ<sup>トキワギ</sup>常盤木、いつもみずみずしく  
栄えてありたい」の願いの下、命名したものです。

その理念に沿い、我々はゴム・プラスチックを素材とする製品群の販売活動  
の中で「地球環境を守る」をスローガンに、全社員が環境保全活動に取り組  
み社会的責任を果たします。

# 環境方針

1. 環境関連法規を遵守します。
2. 当社の事業活動に伴う 資源・エネルギーの効率的活用削減に取り組みます。
  - ① 省エネルギーのためガソリン・軽油・電気使用量を削減します。
  - ② 省資源活動のため紙の使用量を削減します。
  - ③ 廃棄物削減のため、リサイクルに積極的に取り組み環境汚染の予防に努めます。
  - ④ 水の節水に努めます。
  - ⑤ エコ商品の販売、グリーン調達の推進に努めます。
3. 全社員に環境教育、周知を推進すると共に環境保全活動に参加し貢献します。
4. 当社の環境方針は社外に公開します。

平成22年4月12日改定

 株式会社 トキワ

代表取締役 中山 貞 憲



## 第二章 組織の概要

事業所名 株式会社 トキワ  
代表者氏名 代表取締役社長 中山 貞 憲  
資 本 金 8, 0 0 0 万円  
創 業 大正 1 0 年 4 月 1 0 日  
設 立 昭和 2 3 年 1 0 月 2 日

本社所在地 〒812-0016

福岡県福岡市博多区博多駅南4丁目4番30号

TEL 092-451-0121 (代表)

FAX 092-473-9097

H P <http://www.tokiwa-net.com>

環境管理責任者 代表取締役 中山 貞 憲  
環境管理者 北 原 一 範

事業内容 ゴム・プラスチック製品及び産業機械、機械工具の卸売業

弊社は、創業大正10年より九州管内をテリトリーとして、ゴム製品・プラスチック製品を小売店様及び生産工場などのユーザー様に、お客様との信頼関係を第一に考え販売活動を行っています。

### 製品概要

各種工業用ゴム及び樹脂ホース・各種工業用樹脂素材及び加工  
産業用、土建用シート及びフィルム、マット・ゴム板及び各種パッキン  
土木資材・各種伝動用、搬送用ベルト・各種靴、合羽、手袋  
産業機械・機械工具

事業の規模 (事業年度 : 3月～翌年2月)

	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
売上高	百万円	3, 583	4, 016	3, 938
従業員数	人	71名	66名	69名
床面積	m <sup>2</sup>	4836.80	4781.50	4781.50



## 事業所

### 本社及び営業課

〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南4丁目4番30号  
TEL : 092-451-0121 FAX : 092-473-9097  
床面積 : 事務棟 (1F~3F) 1,1146 m<sup>2</sup>  
倉庫棟 (1F~4F) 768 m<sup>2</sup> 合計 1,914.0 m<sup>2</sup>  
従業員 : 33名

### 熊本支店

〒861-4106 熊本県熊本市南区南高江3丁目2番21号  
TEL : 096-311-3120 FAX : 096-311-3123  
床面積 : 事務所倉庫 (1F~2F) 合計 1,115.5 m<sup>2</sup>  
従業員 : 10名

### 大分営業所

〒870-0912 大分県大分市原新町15番14号  
TEL : 097-558-2323 FAX : 097-558-2325  
床面積 : 事務所倉庫 (1F~2F) 合計 475.0 m<sup>2</sup>  
従業員 : 8名

### 長崎営業所

〒856-0028 長崎県大村市坂口町539-4  
TEL : 0957-52-3380 FAX : 0957-52-3943  
床面積 : 事務所倉庫 (1F~2F) 合計 413.3 m<sup>2</sup>  
従業員 : 7名

### 北九州営業所

〒802-0976 福岡県北九州市小倉南区南方5丁目21番1号  
TEL : 093-964-0062 FAX : 093-964-0063  
床面積 : 事務所倉庫 (1F~2F) 合計 512.5 m<sup>2</sup>  
従業員 : 6名

### 鹿児島営業所

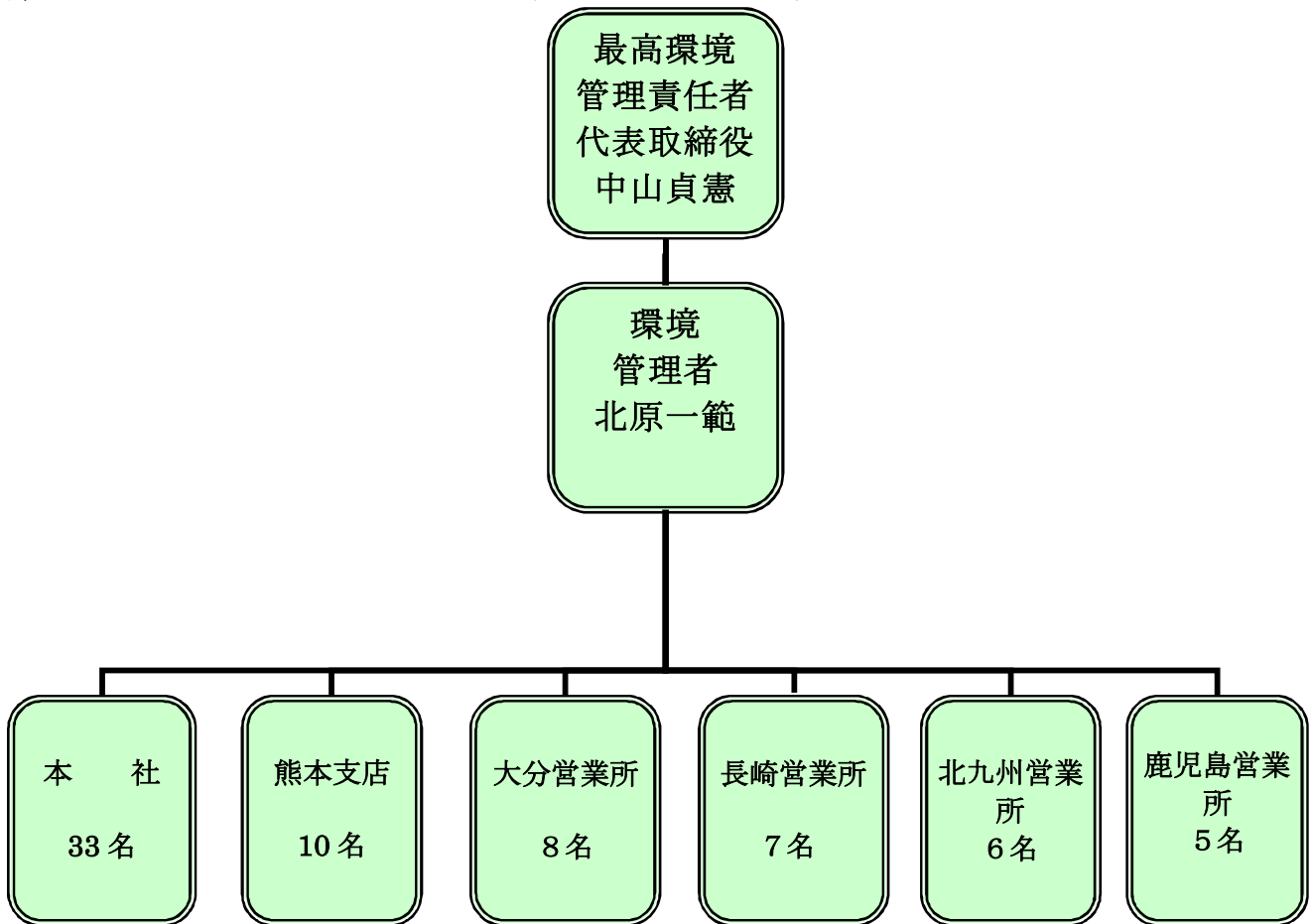
〒891-0131 鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目3-60  
TEL : 099-210-8857 FAX : 099-210-8858  
床面積 : 事務所倉庫 (1F~2F) 合計 351.20 m<sup>2</sup>  
従業員 : 5名

平成27年4月1日付け

認証・登録範囲 : 本社・熊本支店・大分営業所・長崎営業所・北九州営業所・鹿児島営業所



### 第三章 エコアクション 2.1 組織図及び担当者役割



#### 職責別担当者の業務内容

	担当者	担当者	実行内容	人数
1	最高環境管理責任者	代表取締役	環境方針の作成 取組の為、人・物・金について資源を準備する 環境目標の決定・環境目標達成状況の確認及び修正 環境活動レポートの承認 代表者による全体の評価と見直し	1
2	環境管理者	総務部次長	環境目標の策定・環境目標達成状況の確認及び修正 環境活動計画の決定及び実施状況の確認・環境活動教育 環境活動レポートの作成及び最高責任者への提出 環境教育の策定・外部からの苦情及び緊急事態の発生時の 部会長への指示・法令順守指導	1
3	部会長	各事業所長	部門別環境活動計画及び目標の策定・四半期環境活動計画 の評価及び承認・環境教育の実施・外部からの苦情及び 緊急事態の発生について対応、受付及び連絡票の作成	6
4	各責任者	事業部責任者	環境活動計画の実施及び各員への指示・反省 部会長への報告	—
5	社員	事業部門員	環境活動の実施	—



## 第四章 環境目標及び活動実施結果

### ① 平成26年～平成28年環境目標

### 環 境 目 標

環境目標 (目標設定基準)		単位	平成26年度 (H26.3.1～ H27.2.28)	平成27年度 (H27.3.1～ H28.2.29)	平成28年度 (H28.3.1～ H29.2.28)
1	二酸化炭素排出量の削減 基準値 (H25実績) 270,084 kg-co2	Kg-CO2	267,370 以下 (99.0%以下)	264,700 以下 (98.0%以下)	262,050 以下 (97.0%以下)
2	廃棄物排出量の削減 基準値 (H25実績) 20,210 Kg	Kg	20,000 以下 (99%以下)	19,780 以下 (98%以下)	19,560 以下 (97%以下)
3	節水活動の推進 基準値 (H25実績) 883 立米	立米	872 以下 (98.8%以下)	860 以下 (97.7%以下)	850 以下 (96.7%以下)
4	エコ商品の販売 基準値 (H25実績) 57,598 千円	千円	60,000 千円 (4.2%アップ)	63,000 千円 (9.4%アップ)	66,200 千円 (14.6%アップ)
5	事務用品のグリーン購入 基準値 (H25実績) 47.74%	%	49%以上	50%以上	51%以上

注

排出係数に関して、2010年九州電力CO2排出係数実績(0.385kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用して目標作成

### ② 事業所別平成26年度環境目標 (期間：平成26年3月1日～翌2月28日)

事業所/ 単位 平成26年度	二酸化炭素排出量削減	廃棄物排出量削減	節水活動の推進	エコ商品の販売	事務用品のグリーン購入
	Kg-CO2	Kg	立米	千円	%
本 社	114,950 以下	11,730 以下	477 以下	29,900 以上	53%以上
熊本支店	38,650 以下	2,400 以下	159 以下	8,000 以上	28%以上
大分営業所	31,080 以下	1,660 以下	90 以下	7,000 以上	20%以上
長崎営業所	29,700 以下	2,540 以下	48 以下	8,500 以上	62%以上
北九州営業所	35,790 以下	980 以下	44 以下	2,000 以上	57%以上
鹿児島営業所	17,200 以下	690 以下	54 以下	4,600 以上	56%以上
全 社 計	267,370 以下	20,000 以下	872 以下	60,000 以上	49%以上



③平成 26 年度期間活動計画、取組み及び結果

3-1 (二酸化炭素排出量の削減及び節水活動の推進)

平成 26 年度 期間： 3 月～翌 2 月	1、二酸化炭素排出量の削減			2、節水活動の推進		
	Kg-CO <sub>2</sub>			立米		
	目 標	実 績	判定	目 標	実 績	判定
本 社	114,950	117,339	×	477	420	○
熊本支店	38,650	39,502	×	159	154	○
大分営業所	31,080	32,366	×	90	92	×
長崎営業所	29,700	27,507	○	48	55	×
北九州営業所	35,790	32,958	○	44	42	○
鹿児島営業所	17,200	17,928	×	54	72	×
全 社 計	267,370	267,600	×	872	835	○

1. 二酸化炭素排出量の削減

平成 26 年度二酸化炭素排出量については、対目標 100.09%と僅か 0.09%のオーバーで終了した。

内容は、比率が大きいガソリン使用量が削減できなかったことがこの成績になった。

各事業所別の二酸化炭素排出量については、長崎営業所にてガソリン使用量の削減、北九州営業所にて、電力・ガソリン・都市ガスの使用量にて節減ができた。

達成できなかった事業所については、原因が把握できているようなので、次年度の活動に繋げてほしい。

2. 節水活動の推進

平成 26 年度節水活動については、対目標 88.4%と達成できた。

事業所別にみると、鹿児島営業所でのオーバーが大きく、対目標 133.3%となった。

原因は、水洗便器の不具合の発見が遅れたとのことで、機器のチェック意識の向上を図るように指示した。





エネルギー別成績

エネルギーの種類	単位	平成 25 年度実績	平成 2 6 年度実績	増減率
電 力	Kg-co2	61,283	58,217	△5.0% 削減
都市ガス	Kg-co2	6,842	5,785	△15.5% 削減
LPG ガス	Kg-co2	102	90	△11.8% 削減
ガソリン	Kg-co2	197,414	200,418	+1.5% 増加
軽 油	Kg-co2	6,458	3,097	△52.1% 削減

電 力：前年実績より 5%の削減を行ったが、特に冷房使用時のきめ細かな節減が成績に繋がっている。極度の活動による体調不良や脱水症状等にならないよう注意をしていきたい。

ガソリン：ガソリン使用量については、1.5%の増加となった、原因は、本社にて新卒者が 9月より営業を開始し、車両増となりガソリン使用量が増加し対目標 105.4%と達成できなかったことが大きいと考える。  
より一層のエコ運転を心がけ増車、営業活動増での排出量の増加に少しでも寄与できるように活動を推進してほしい。

軽 油：本社トラック（2トン車）1台しか保有がなくなったので車両減にての成績となった。

3-2（廃棄物排出量の削減）

平成 26 年度 期間： 3月~翌2月	3、廃棄物排出量の削減		
	Kg		
	目 標	実 績	判定
本 社	11,730	8,685	○
熊本支店	2,400	3,560	×
大分営業所	1,660	1,411	○
長崎営業所	2,540	2,500	○
北九州営業所	980	883	○
鹿児島営業所	690	239	○
全 社 計	20,000	17,278	○



### 廃棄物排出量の削減結果

平成26年度の廃棄物排出量の成績は、対目標 86.4%と大きく削減できている。各事業所での成績は、本社対目標 74.0% 熊本支店 148.3% 大分営業所 85.0% 長崎営業所 98.4% 北九州営業所 90.1% 鹿児島営業所 34.6% と各事業所ばらつきはあるが、熊本支店を除く事業所にて達成できた。熊本支店については、倉庫内整理をおこなってプラスチックの端材 930 キロ、書類の整理にて 800 キロ リサイクルを出した事が原因でそれ以外は、特に問題はなかった。又、全事業所にて排出予定の包装資材及びダンボールの再利用を積極的に行っていることも成績に繋がった。

### 3-3 (エコ商品PR・販売活動実績)

目標 : エコ商品の販売 年間 60,000 千円

単位 : 千円

	本社営業課	熊本支店	大分営業所	長崎営業所	北九州営業所	鹿児島営業所	合計
目標	29,900	8,000	7,000	8,500	2,000	4,600	60,000
実績	11,616	9,497	16,908	7,865	2,679	4,254	52,819
対目標達成率	38.8%	118.7%	241.5%	92.5%	133.4%	92.5%	88.0%

### エコ商品の販売実績結果

エコ商品の販売実績として、開発課を中心に活動を進め、電力監視システムによる節電商品、冷凍倉庫内のエアーカーテン、LED照明への切り替えなどの販売を行い、当年度目標には達成できなかったが活動が浸透している。

### 3-4 (グリーン購入成績表)

	本社	熊本支店	大分営業所	長崎営業所	北九州営業所	鹿児島営業所	全社
グリーン購入率目標	53%以上	28%以上	20%以上	62%以上	57%以上	56%以上	49%以上
グリーン購入率	62.0%	56.9%	38.4%	87.4%	68.5%	44.8%	60.82%
判定	○	○	○	○	○	×	○

グリーン購入に関しては、事務用品をたのめーるにて購入した分にて表示。

### グリーン購入成績結果

平成26年度の事務用品のグリーン購入については、計画 49%⇒60.82%と大きく増加させた。各事業所の活動を確認すると、購入時に再三グリーン購入品にて調達できないかをチェックし購入しているなど各責任者の意識付けが出来ているからの成績と考える。残念ながら達成できなかった鹿児島営業所については、対策も既に検討しているので今後の成績に繋がると考える。



④環境負荷の削減についての活動結果

取組	取組目標	事業所	活動項目		判定
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	全社	1	事務所及び倉庫の昼休み中の消灯及び未使用室の電源切	◎
		全社	2	業務未使用中のパソコン及び昼休み中の電源切	○
		全社	3	電気冷房及び暖房の温度設定を取り決めに沿って行う。	◎
	ガソリン・軽油の削減	全社	1	エコ運転の徹底	○
水資源の削減	水使用量の削減	全社	1	水使用時の節水活動	◎
環境負荷の削減	エコ商品のPR	全社	1	エコ商品の販売	△
	グリーン調達	全社	2	事務用品をたのめーるにて購入グリーン調達比率アップ	◎

取組	取組目標	事業所	活動項目		判定
廃棄物の削減	廃棄物の削減	全社	1	廃棄物の分別廃棄の徹底	◎
			2	ダンボールの再利用	◎



## 「活動評価について」

### (二酸化炭素排出量の削減)

- 1.二酸化炭素排出量の削減については、電力使用量の削減での未使用室のまめな消灯が徹底され意識付けが出来ている。又、冷暖房の温度管理及び責任者の意識が同じく達成に貢献している。  
ガソリン使用量については、増車及び軽油車からの入替等の問題がありましたが、エコ運転の意識は高いと感ずる。

### (廃棄物排出量の削減)

- 1.廃棄物排出削減については、前年同様事業所にてダンボールの再利用が徹底され数値的にも反映できている。  
各事業所担当及び事業長に定期的な排出を指示した。

### (節水活動の推進)

1. 水の節水についての意識は根付いているので、当年も特に問題はなかった。

### (エコ商品のPR)

- 1.エコ商品の販売については、当年は目標達成できませんでしたが、開発担当の活動は各事業所営業員と深く行っているため、順次成績に繋がると考える。

### (グリーン調達の実施)

- 1.当年も購入品目がある程度決まっている中、購買担当者は意識付けが出来活している。



①平成27年度環境目標

環境目標（平成27年度）

環境目標 (目標設定基準)		単位	平成26年度 (H26.3.1～ H27.2.28)	平成27年度 (H27.3.1～ H28.2.29)	平成28年度 (H28.3.1～ H29.2.28)
1	二酸化炭素排出量の削減 (基準値 306,699kg-co2)	Kg-CO2	303,630Kg-CO2 以下 (98.9%以下)	300,560Kg-CO2 以下 (98.0%以下)	297,980 Kg-CO2 以下 (97.0%以下)
2	廃棄物排出量の削減 (基準値 20,210kg)	Kg	20,000 Kg 以下 (99.0%以下)	19,780 Kg 以下 (98.0%以下)	19,560Kg 以下 (97.0%以下)
3	節水活動の推進 (基準値 923 m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	872 m <sup>3</sup> 以下 (94.5%以下)	860 m <sup>3</sup> 以下 (97.7%以下)	850 m <sup>3</sup> 以下 (96.7%以下)
4	エコ商品の販売 (基準値 57,598 千円)	千円	60,000 千円 (4.2%アップ)	63,000 千円 (9.4%アップ)	66,200 千円 (14.6%アップ)
5	事務用品のグリーン購入 (基準値 47.743%)	%	49%以上	50%以上	51%以上

平成26年～平成28年の長期目標を立て、2年目になる平成27年度環境目標については、二酸化炭素排出量の削減目標の基準値が平成25年実績（2010年九州電力CO2排出係数実績（0.385kg-CO2/kWh）を使用し作成）であったが、平成27年度については、排出係数を2013年九州電力CO2排出係数実績（0.613kg-CO2/kWh）に変更し基準値（平成25年度実績）を見直したため、目標値についても再作成した。



②平成 27 年度環境活動計画

取組	取組目標	事業所	活動項目	
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	全社	1	事務所及び倉庫の昼休み中の消灯及び未使用室の電源切
		全社	2	業務未使用中のパソコン及び昼休み中の電源切
		全社	3	電気冷房及び暖房の温度設定を取り決めに沿って行う。
	ガソリン・軽油の削減	全社	1	エコ運転の徹底
水資源の削減	水使用量の削減	全社	1	水使用時の節水活動
廃棄物の削減	廃棄物の削減	全社	1	廃棄物の分別廃棄の徹底
	〃	全社	2	ダンボールの再利用
エコ商品の販売	エコ商品のPR	全社	1	エコ商品の販売実績の達成
グリーン調達	事務用品のエコ商品調達の比率を上げる	全社	1	事務用品のエコ商品調達比率を上げる

当年度も、同じ内容にて活動を積極的に行う。



## 第六章 環境関連法規等の取りまとめ

平成 27 年 6 月 1 日現在、環境関連法規を遵守し、関係機関や利害関係者の指摘、苦情、訴訟はありませんでした。

環境法規名称	届出・作業等	適応範囲	適応条件	遵守事項	主管部門	判定	確認者
消防法	消化設備法定点検	火災報知機・煙探知機・消火栓・消火器		消防法年 2 回の点検 3 年に 1 回法定点検を 消防署への報告	総務課 各事業 所	○	北原
	指定可燃物の取扱	指定可燃物の貯蔵・取扱の基準		市町村条例（火災予防 条例）にて 指定数量 5 倍以上 消 防所長に届出	熊本支 店 支店長	○	北原
廃棄物 処理法	産業廃棄物	廃プラスチック ゴムくず	委託基準 委託先の許可 証の確認	収集運搬及び処分業者 の委託契約書の取交し 及び許可証の確認 中間処理場などの確認	総務課 各事業 長	○	北原
			マニフェスト の交付	適合マニフェストの使用	総務課 各事業 長	○	北原
			マニフェスト の管理及び保 管	マニフェスト管理帳の 作成及び交付→回収の 確認	総務課 各事業 長	○	北原
			マニフェスト 票に関する知 事への定期報 告	毎年 6 月 30 日までに 前年度（3 月 31 日以 前の 1 年間に交付した マニフェスト交付状況 を様式第 3 号により知 事等に提出する。 （政令指定都市の場合 読替政令にて市ゴミ対 策課に提出）	総務課 各事業 長	○	北原
			契約書の取交 し	廃棄業者との産業廃棄 物廃棄にかかわる契約 書を取り交わす	総務課 各事業 長	○	北原

## 第七章 外部からの苦情等の受付結果

外部からの苦情等の受付はありませんでした。



日 時 : 平成 27 年 4 月 7 日 (火) 11:00~12:10

議 題 : ①平成 26 年度環境目標及び環境活動についての実績報告と指示及び機能性・有効性について

②平成 27 年度環境目標及び環境活動目標について

内 容 :

①平成 26 年度環境目標及び環境活動についての報告と指示及び機能性・有効性について

会議参加者に次の資料が配布され会議が進められた。

①「温室効果ガス排出量 実績集計表」及び「評価結果表」

②「廃棄物排出量 実績集計表」及び「評価結果表」

③「グリーン購入活動計画とその結果表」

④「エコ商品 PR 及び販売活動実績」

環境管理者から上記各項目の成績発表が行われ、代表者（環境責任者）より評価がなされた。まず温室効果ガスに関しては、営業推進上の増加については仕方ないが、車両管理者に再度エコ運転活動を進める事、又廃棄物に関しては、溜まりすぎないように整理整頓をして順次排出方法を加味して廃棄する事、エコ商品に対しては、開発課を起点に販売及び売込みがなされているので、このまま推進する事、3点指示が出た。

又、機能性については、特に「グリーン購入活動」での実績及び活動がものがたっているが、この環境マネジメントシステムは確かに有効機能していると評価された。

②平成 27 年度環境目標について

平成 26・27・28 年の 3 カ年の環境目標については、排出係数を 2010 年九州電力 CO2 排出係数実績 0.385kg-CO2/kWh を使用して作成していたが、平成 27 年度の計画については平成 25 年度基準値の排出係数を 2013 年九州電力 CO2 排出係数 0.613 kg-CO2/kWh を使用して再計算し基準値とし環境目標を再作成しなおすよう指示が出た。

エコ商品の販売については、残念ながら目標を達成できなかったが、3 年計画の 2 年目の計画をそのまま目標にするように決定した。





 株式会社 トキョ